

Vol. 43 R7.3.10

火山噴火発生時における緊急調査訓練を実施



立山砂防事務所管内には、立山連峰・雄山の西斜面に弥陀ヶ原火山（通称：地獄谷）と呼ばれる爆裂火口が分布しており、過去1万年の間には規模の大きい水蒸気噴火が発生しています。現在、弥陀ヶ原火山は噴気活動が活発化しており、火山の噴火により緊急調査を実施する可能性があります。火山噴火時の緊急調査は国土交通省の職員が現地調査や氾濫解析を行い、自治体や住民へ情報提供を行うと共に、関係機関との連携の強化や避難計画の策定が求められています。立山砂防事務所では、万が一の弥陀ヶ原火山の噴火に対応できるよう、噴火発生時の緊急調査における調査手法を習熟する訓練を行いました。

日 時：令和7年3月10日（月）
10：10～15：00

場 所：立山砂防事務所

実施内容：【座学】土砂災害防止法に基づく
緊急調査と弥陀ヶ原火山の概要

【実技演習】

- ・ 降灰量調査
- ・ 浸透能調査

【解析演習】

- ・ QUAD-V（氾濫解析ソフト）操作

参 加 者：立山砂防事務所職員

【実技演習】



降灰量調査



浸透能調査

【解析演習】



QUAD-V（氾濫解析ソフト）講習



QUAD-V（氾濫解析ソフト）操作



座学の様子